

子どもに  
ツケを  
まわさない!

千葉市議会議員 中央区選出

# こおご 保雄 やすお

令和元年 第2回定例会(6月議会)での  
一般質問のご報告をいたします。



皆様にも身近に感じていただける  
議員を目指して。

ゆるキャラを使って  
千葉市をもっと盛り上げよう!



千葉市で発掘された  
古代ハスの大賀ハス・キャラクター ちはなちゃん  
 国の特別史跡となった  
千葉市の加曽利貝塚・キャラクター かそりーぬ

中央区選出千葉市議会議員、自由民主党千葉市議会議員団所属のこおご保雄でございます。長かった梅雨も明け夏本番の今日この頃ですが、市民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、令和に入ってから初めての参議院選挙が開催され、皆様のご支持をいただき自由民主党は2議席を守ることができました。また、千葉県第3選挙区の松野博一衆議院議員が文部科学大臣に就任された際に、自由民主党千葉市議会議員団が松野大臣を表敬訪問し、エアコン設置に関して国の予算補助の必要性を要望しました。その甲斐もあり、いよいよ昨年の9月議会において千葉市立の小学校111校、中学校55校へのエアコン設置の為の基本計画策定費7,800万円の補正予算が可決されました。直接施工方式とリース方式に分けて、一部の直接施工方式で設置される中学校においては令和2年6月末までに、その他は原則として同年3月末までに、すべての小中学校へのエアコンの設置が完了予定です。子供たちの学習環境改善に資する支出として、エアコン設置の為の総予算は66億円で、毎年の運用費用が2億円程度となります。本年は、間に合いませんので猛暑対策として早めの夏休みとなりました。

今回の6月議会において、①高齢化対策としての公園での健康遊具の設置について②高齢者の健康増進としてのフレイル予防について③高齢者の介護施設における虐待防止についての3項目について質問を致しましたので以下ご報告いたします。

3面の続き

質問「こおご」

施設にお世話になって話になっている場合、介護者である本人が虐待と感じても伝えることを我慢してしまい、潜在的に表に出てこない事案もあるのではないかと考えます。市としてどのように対応すべきか考えを伺います。

回答 保険福祉局長

施設利用者に対して、通報先となる市の担当部署やあんしんケアセンターなどが周知されるよう徹底します。また、入所施設等に派遣している市の介護相談員が利用者から直接相談を受けながら、虐待につながるような事案がないかどうかの確認を行う等により、自ら苦情等を訴えることのできないケースや通報を躊躇して

こおごの主張

私が相談を受けた件については、市の担当者も現地調査を行ったようですが、利用者側と施設側で事実関係をめぐると見解の不一致があり、記録がないこともあって事実関係の認定に至らなかったと聞いています。

利用者や施設側とで「言った・言わない」になってしまえば、両者間の信頼関係が希薄になり、サービス利用にも影響しかねません。サービス提供に関する説明責任を有しているのは

施設側でありますから、利用者で説得力のある十分な説明ができるように記録をしっかりと残すことや、現場職員の資質向上、組織的な対応の在り方について検討するよう指導することを強く要望いたします。


また、介護従事者がどういことが虐待になるのか、自分がしていることが虐待にあたることもあるのだと認識してもらったための研修を定期的実施していただき、虐待が起らないような環境づくりをお願いします。

いるようなケースであっても早期発見できるように努めてまいります。

更に、介護サービス事業者等の高齢者虐待への認識を高めるため、昨年6月から12月の間に4回開催した介護施設等の職員向けの「権利擁護及び身体拘束廃止に関する研修会」を引き続き

開催するとともに、その内容の充実を図ってまいります。

また、市が各事業所において実施する実地指導の際に、指定制準に沿って従業者が虐待防止研修を定期的に受講しているか等について確認することにより、虐待の起こらない運営が行われるよう指導監督に努めてまいります。



YASUO KOGO  
**千葉市議会議員 こおご保雄**  
 中央区選出

Profile

主な所属

- 保健消防委員会委員
- 千葉市消防団本部副団長
- 千葉県解体工事業協同組合顧問
- 千葉市廃棄物リサイクル事業協同組合顧問
- 千葉市再資源化事業協同組合顧問
- 少年野球チーム新宿マリナーズ顧問
- 新宿小学校地区スポーツ振興会会長
- 新宿地区部会顧問
- 新宿2丁目自治会会長
- 新宿2丁目子ども会会長
- 千葉県理容生活衛生同業組合中央支部顧問
- 千葉県美容生活衛生同業組合千葉支部顧問
- 千葉市母子寡婦福祉会顧問
- 千葉市造園緑化協同組合顧問
- 千葉市レクリエーション協会理事

こおご保雄は自らが汗を流し、日本人として生まれ育れた、古くから重んじられてきた伝統や礼節を尊ぶ心を見失わず、正直な人が報われる、弱い人が救われる、そんな当たり前の社会の実現に向けてまちづくりに邁進します。

市政への声をお聞かせ下さい。

<p>略歴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●昭和52年 市立千葉高等学校卒業</li> <li>●昭和57年 横浜市立大学商学部卒業</li> <li>●平成2年 税理士登録 向後税務会計事務所開設</li> <li>●平成15年 千葉県税理士会千葉東支部支部長</li> <li>●平成19年 千葉市議会議員【中央区選出】初当選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成23年 千葉市議会議員【中央区選出】当選(二期目)</li> <li>●平成27年 千葉市議会議員【中央区選出】当選(三期目)</li> <li>●平成27年 5月:千葉市議会 第75代議長 就任</li> <li>●平成31年 千葉市議会議員【中央区選出】当選(四期目)</li> </ul>
--	---

お願い 市民の皆様よりお寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、必ず目を通し、議員活動の参考にさせていただきます。後日、ご報告させていただくために、出来ましたら匿名ではなく、連絡先をお知らせいただければ幸いです。

# 1 高齢化対策としての公園での健康遊具の設置について

**質問** 市民から「公園に高齢者用の健康遊具を多く設置してほしい」という要望がありました。調べたところ韓国や中国では身近な公園に健康遊具が設置されており、だれでも好きな時に実践できる健康長寿対策がされています。現在、千葉市内の健康遊具を設置してある公園数と設置率はどうのようになっているのでしょうか。また、健康遊具の種類と利用状況からみた将来的な設置の必要性について伺います。

**回答** 都市局次長

健康遊具設置数	
全市公園数	1131箇所
健康遊具設置数	103箇所(設置率約9%)
※2019年3月末時点	
市内で最も多い健康遊具	
背のばし運動ができるベンチ	(その他の健康遊具:腹筋運動や腕立て伏せができるもの、バランス感覚を鍛えるもの等)

## 健康遊具の利用状況

利用状況に関する調査は行っていませんが、高齢者による屋外活動が盛んに行われている公園では比較的多くの方が利用している状況です。

## 今後の健康遊具設置に関して

現在、市内の公園では長寿命化計画に基づき老朽化した遊具の交換や公園の再整備などを進めています。その際、地元自治会などからご要望をいただいた場合は健康遊具への交換を行っています。健康遊具は、高齢者の健康づくりに寄与するものであることから、地域の意向を踏まえて健康遊具の設置について検討してまいります。

近隣都市の健康遊具設置状況	
習志野市	5.8%
四街道市	3.1%
八千代市	16.0%

近隣都市と比較した時、一概に本市の設置率が低いとは言いきれませんが、今後も健康長寿対策を進めるためにも積極的な設置をお願いいたします。また、韓国では標準的に公園に健康遊具が設置されているそうです。この背景には2018年に韓国の女性が一人あたり生涯に産む子供の数が世界最低水準となったことで、韓国の高齢化が予想よりも早く訪れる予測のもとでも推測できます。我が国も少子超高齢化社会に向かっていくわけですから、千葉市としても高齢化率が特に高い若葉区をはじめとした公園へ積極的に健康遊具を設置していただきたいです。

# 2 高齢者の健康増進としてのフレイル予防について

**質問** フレイル予防事業を先進的に行っている自治体は柏市です。柏市では市民主体となってフレイル予防プログラムを実施しています。具体的には、元気な高齢者がフレイルサポーターとして登録し、担い手側となって、専門職不在で市民が主体となっているフレイルチェック等の健康増進活動を継続しています。本市の健康長寿のためのフレイル予防についての見解と実施状況について伺います。

**回答** 保険福祉局長

フレイルは早期介入することで改善し、要介護状態へ至る可能性を減らすことができることから、その予防の取り組みは重要であると考えています。本市では、高齢者がフレイルとその予防策を理解し、実践することができるようさまざまな事業を実施しています。講習内容を地域で広め、身近な場で周囲の人と関わりを持ちながら、自主的に取り組めるよう各種介護予防事業を実施しています。

## このおごの主張

千葉市高齢者保険福祉推進計画・第7期介護保険事業計画の中には、「自立支援と重度化防止」の中の「課題」において「フレイル」という言葉が出てくるだけです。もっと市民に「フレイル」とはどのような状態のものかを理解してもらえ、事業を実施し、計画の市長の挨拶文にも出てくるように、少子超高齢化問題を高齢者が「我が事」としてとらえ、元気な高齢者が

「支える側」としていかに楽しく健康増進活動を継続するか、意識を持ってもらうことが重要であると考えます。真の「医療制度改革」は、医療費の自己負担を増やすことではなく、医療の世話にならない状態の高齢者を増やすことと考えますので、本市においても柏市のように市民が自らフレイル予防を実施できるような仕組みづくりを強く要望します。

# 3 介護施設における高齢者の虐待防止について

**質問** 高齢者の介護施設における虐待に関する相談は今まで何件あり、どのように対応したのでしょうか。

**回答** 保険福祉局長

被害を受けた利用者の安全を確認したうえで、市が直接調査する等により原因の分析を行い、これに基づいて施設に対して再発防止策を含めた改善策を速やかに講じるよう勧告等を行っています。その後、虐待のない適切な施設運営となっていることを確認するため、改善策の実施状況やその効果について報告を求めることにしています。

平成31年度  
市が受理した介護施設での  
高齢者虐待の相談及び  
通報件数

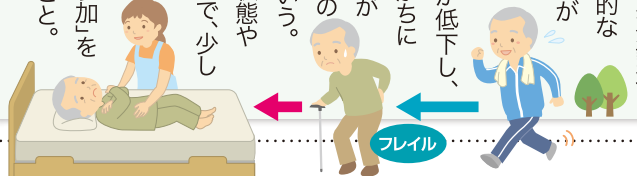
113件

内、虐待と認められたケース 6件	
職員による身体的虐待	3件
暴言をふるう等の心理的虐待	2件
性的虐待	1件

4面へ続く

## フレイル予防とは?

「フレイル」とは虚弱という意味のFrailtyからきている。健康な状態から要介護状態になるまでに、中間的な「フレイル」という段階があるという考え方。フレイルとは低栄養状態から筋力・体力が低下し、そのため閉じこもりがちになり、社会との繋がりが希薄になるなど、生活の質が低下した状態をいう。フレイル予防はその状態や兆候を知っていることで、少しでも健康な状態を保つことを目的とし、「栄養」「運動」「社会参加」をサポートする活動のこと。



定期的開催	
各区保健福祉センターにて	低栄養を予防するための栄養相談
各区 年間6コース開催	食事セミナー講習
その他:いきいき体操やシニアリーダー体操等	